

現況：評価区分については、A～Dで自己評価をする。

A：充分達成されている

B：ほぼ達成されている。

C：達成されているといえないが、努めている。

D：達成されていない

評価項目の取り組み状況など
具体的な理由・内容を自由に
記入

評価分類		自己評価項目	現況	評価項目の取り組み状況等
① 教育課程・指導	1	園の教育理念や方針を理解し、目指す幼児の姿を具体的にイメージできる。	A5人	
	2	幼稚園教育要領を理解し、具体的な事例を想起できる	A4人 B1人	
	3	園の教育課程を理解し、それを基に保育の計画をたてている。	A4人 B1人	
	4	長期の指導計画はマンネリ化しないよう、常に見直しを行い、短期の指導計画は幼児の実態に合わせて変更できる順応性のあるものにしている。	A4人	
	5	幼児の生活が豊かになるような行事を、実態に合わせて精選している。	A5人	
	6	教師の願いや意図をもち、幼児の発達や生活を見通して環境構成をしている。	A5人	
② 健康と安全への配慮	1	けがや事故には特に気をつけ、機会に応じ適切な配慮をしている。	A6人 B1人	急ブレーキをかけないような運転を心がける。
	2	健康な心と体を育てるための食育に取り組んでいる	A6人 B1人	野菜を育てて食べることに興味をもってもらようようにする。
	3	緊急事態発生時に教職員が役割を把握し、「連携して行動ができるよう訓練を資、共通理解が図られている。	A5人 B2人	不時の際は速やかに先生たちと連携して子どもたちの送迎をし、速やかに修理工場から来てもらう。
	4	幼稚園バスの送迎時の乗り降りには特に注意し、チェックリストなどを作成し、教職員全員で共通理解している。	A7人	帰りのバスに預かりの子を乗せる時は保護者の同意を得た上で十分に安全に配慮している。 先生と運転手で二重に確認。
③ 幼児の	1	一人一人の幼児をよく観察し、言葉にならない思いやサインを受け止め、幼児同士のかかわりの中で、その姿の内にある心の動きについても推察するようにしている。	A5人	

み と り と 理 解	2	幼児の気持ちに共感しながら一緒に遊んでいる。	A6 人	
	3	「先生のようにやってみたい」と幼児が思うようなモデルとしての姿を心がけている。	A4 人 B1 人	元気な挨拶や食事のマナー、きれいな言葉遣いなどに十分気を付ける。
	4	幼児同士のトラブルに対し、適切な対応をしている。	A5 人	
	5	幼児の年齢や発達に応じたかかわり方をしている。	A5 人	
④ 教 師 と し て の 資 質 ・ 能 力 ・ 良 識 ・ 適 性	1	保護者に対し、幼児や保育のことを分かりやすく伝え、信頼関係を構築することに努めている。	A6 人	
	2	幼児や保護者の対応には、公平さを欠かさないようにする。	A6 人	
	3	園の教材等は節約して使い、後で使う人使いやすいようにする。	A6 人	
	4	職務上、知りえたプライバシーに関する情報などの秘密を守っている。	A7 人	
	5	クラス内はもちろん、園内外の清掃や整理整頓をしている。	A7 人	
	6	教職員全員でひとつのチームワークであることを意識している。	A7 人	
	7	他の意見を素直な気持ちで聞き、また自分の意見を述べることができる。	A7 人	
	8	当番や役割による仕事は確実にやっている。	A6 人	
	9	自然に対する感性をもち、命の尊さを感じている。	A6 人	
⑤ 保 護 者 へ の 対 応	1	保育参観や懇談会、面談等を開き、子どもや保育、家庭での様子について共通理解を得るように努める。	A5 人	
	2	園だより、クラスだよりで園の教育について情報を提供している。	A5 人	
	3	自分の考えをきちんと話すと共に、保護者の話を心を聞いて聞く。	A6 人	
	4	園のすべての保護者に対し、挨拶や会話を心がけている。	A7 人	
	5	クレームがあった場合は謙虚に話を聞き、園長・教頭に報告・連絡・相談をしている。	A5 人	
	6	小学校生活に期待と喜びを持たせる機会を設け、小学校生活や学習につながる指導を行っている。	B4 人	小学校生活や学習につながる指導は行っているが、小学校との連携がなかなか難しい。
	7	他の意見を素直な気持ちで聞き、また自分の意見述べるができる。	A6 人	

	8	当番や役割による仕事は確実にやっている。	A6 人	
	9	自然に対する感性を持ち命の、尊さを感じている。	A6 人	

⑥ 地 域 と の 関 わ り	1	地域の自然や機関を指導計画の中で位置づけて活用している。	A1 人 B4 人	地域の方々との交流はなかなか難しいと感じる。
	2	小学校生活に期待と憧れを持たせる機会を設け、小学校生活や学習につながるようにしている。	A1 人 B4 人	
	3	子育て支援活動は、地域や保護者の実情や要望に応えられるような工夫をして行っている。	B5 人	
⑦ 特 別 支 援 教 育	1	特別に支援が必要な幼児には、個別の指導計画などを作成し、必要に応じて専門機関との連携をとっている。	A4 人 B1 人	
	2	特別に支援が必要な幼児を取り巻く大人たちの相互理解を深め、個性の違いを認め、お互いに尊重できる子どもの人権教育に配慮している。	A5 人	研修会等に積極的に参加し、理解深める。
	3	特別に支援が必要な幼児の就学相談を保護者や専門機関と行い、小学校に適切な申し送りをおこなっている。	A1 人 B4 人	
⑧ 研 修	1	研修会には自己課題を持って参加して、学習している。	A5 人	
	2	自分の保育について、反省と次につなげていこうとする計画を持っている。	A5 人	
	3	他園の見学をしたり、公開保育を見たり、また行ってみたいと思う。	A5 人	新たに気づくことも多く、他園での公開保育はとても自身の勉強になる。
	4	園内で幼児理解を深めるため、話し合いを行っている。	A6 人	教職員間の情報共有や意見交換はとても重要であると思う。

☆ 総合的な評価結果

結 果	理 由
A5 人 B2 人	・ 地域の方々との関わりは希薄と感じるが、それ以外では大概目標等達成できていると思われる。 ・ 職員間の情報共有がきちんとなされ一人ひとりの子どもに必要な細やかな配慮ができる環境であると思う。園全体の雰囲気明るく温かい中で子どもと関わるができる。 ・ 猛暑でうまくできなかった野菜があったことやアライグマにとうもろこしを食べられてしまった。 ・ 子どもの体調不良のため、休むことが多く仕事が遅れたり迷惑をかけてしまった。 ・ 日々反省と研鑽のするよう、心がけている。

☆ 今後取り組むべき課題（次年度の目標や計画）

課 題	次年度の目標や計画
・今在園している子ども達を大切に、感謝しながらたくさん子ども達と関わることができるようにする。 ・少子化による園児減少 ・畑の作物の暑さ対策 ・仕事の期限を早めに定める。 ・地域との関わりをもち、教育につなげる。 ・特別支援についての知識を深める。	・研修や普段の保育でスキルアップし、よりよい教育ができるようにする。 ・これまでの職場環境を継続しながらまた新たに先生方との関係を構築し、必要とされる幼稚園を模索していきたい。 ・特別な支援が必要な子どもの個別指導案の作成と地域との連携を考えていく。 ・どこの幼稚園でも少子化という課題を抱えているが、その中でも園の特色等をインスタやHPなど様々な方法で発信し、広く周知していくこと。 ・暑さに強い品種を探す。 ・提出期限に関わらず、早めに仕事を進める。 ・子ども一人ひとりについての理解を深め、一人ひとりに合った対応をする。